学生相談室だより

2016 年 第 2 号 (通算 第 36 号 2016 年 11 月 発行:京都橘大学 学生相談室)

みなさん、こんにちは。

大学祭も終え、忙しい毎日を過ごされていることと思います。そんなときだからこそ、積極的に落ち着ける時間もとってほしいなと思います。特に、後期は夏から秋、冬と季節の変わり目が次々やってきます。どうしてもバランスを崩しやすい時期なので、注意が必要です。

ほっと一息つきたいとき、

誰かに何かを聞いてほしいなと思ったとき、



…どんなことでも構いません。気楽に気軽にいらしてください。

お知らせ

学生相談室は2016年1月に響友館3階に移転しました。

面接室とは別に談話室も備わっています。

学生相談室が主催するイベントの会場にもなりますが、普段は談話室は、他のラウンジとは違って、学生相談室を利用している人、利用を考えている人、『カウンセリングを受けたいけど…』『こころを休めたい』『静かな空間で過ごしたい』と思っている人が、安心して過ごせる場所です。談話室の利用は予約も要りません。

少しゆっくい過ごせる場所があればいいなと思うときは・・・ ぜひ、学生相談室談話室をご利用くださいね

今年も学生相談室を知って頂くために、年に 2 回の「学生相談室だより」を発行します。この「学生相談室だより」は前期と後期に一度ずつ発行され、大学ホームページにも掲載されます。「学生相談室だより」第2号は、5 人のカウンセラーがそれぞれ自由に綴ります。

【カウンセラーからのひとこと】

小川 真理

毎回、何を書こうか悩みます。出来ればこれを手に取ってくれる学生さんの心にちょっとでもフィットしたことを…と思うので、たいていまずは自分の学生時代を思い返してみます。

大学 4 回生のちょうど今頃の時期、マイペースに卒論に取り組んでいました。並行して大学院進学に向けた勉強会にも参加していました。卒論提出が迫った 12 月、勉強会に先輩を通じて1人の同期生が加わってきたのですが、彼は実は同じゼミ。でもほとんど関わりもなく話した記憶もないくらいでした。実際に話してみると、色々気が合う、趣味が合うことがわかりました。

それからずっと、卒業してから十数年経った今も仲良しです。出会い(正確にはもっと前なのでしょうが)は卒業間際でしたが、大切な友人として互いのささやかな出来事を報告しあったり、お酒を飲みに行ったり、時には同業の戦友として悩みを相談することが続いています。もちろん、勉強会のメンバー皆とも今も交流しています。

卒業を控えた 4 回生の皆さんにも、さらにこれからの学生生活の中で生涯付き合えるような誰かとの出会いがあるかもしれませんね。そして、それはもうとっくに出会っている誰かかもしれませんね。

河井 直美

「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」子規の句ですが、鮮やかなオレンジ色、ではなく 柿色は、渋みのある明るさがあり引かれます。だけど、引かれるものはちょっと危な い。先日、歩いていたら「カキいりませんか?」と声を掛けられ、台車に柿箱を載せ て行商している若い女性に出くわした。かわせばよかったのに、甘くて美味しいとす すめられるままに買ってしまった。食べてみれば味はフツー、特に安くもなかったし ひっかかってしまった、渋くつややかに輝く柿色にしてやられてしまった。

小2の時、柿の上手なむき方をなぜか父に指南され、家にあった柿の木が豊作で、どんどんどんどんいくらでも何個も何個も楽しくむきまくった。が、しかし、それが母にばれ、むいた分は自分で食べろと叱られた。(鬼っ!)かつては素直だったので、食べようと頑張った。翌日ハライタを起こし鬼が病院へ連れてった。ピー・・ゲボッ・・何日も何日も学校を休むはめになり、楽しみにしていた初めてのバス遠足が遠のいた。あー、行きたかったなあ、阪神パーク。大学生になり合ハイで阪神パークへ、うきうき。なんだ、さほどでもなかったか(幼いからこそ楽しみなとこだったのね)。柿を見れば思い出す苦い思い出。でも、今は笑い話だ。ははは。みなさんも、引かれるものにはご用心!特に魅かれる異性にはご用心?苦い、痛いが隠れているかもね。キュン!



國松 典子

このところ立て続けに映画を観ています。話題の邦画・怪獣めいた謎の生命体が現れ、東京の街を破壊していくのに立ち向かう映画やら、高校生の男の子と女の子が主人公で、ときどき体が入れ替わってしまって物語が進行するアニメ映画やら・・(何の作品だか見当つくでしょうか?)・・その他、2~3 作品。映画観るのに 2 時間拘束されるのを、いつもは億劫に思うほどの鑑賞無精な性分なのですが、最近はちょっと事情が異なりました。何だか周りの人たち、「アレ観た」「コレ観た」「すごい良かった」「絶対、観て観て」等々、ロ々かまびすしい。ネット上の人々も騒いでます。そして学生の皆さんからもポロポロと話が聞こえてきます。作品そのものへの関心だけでな

く「この人がこんなふうに言うなんて、どんなんだろう?」と惹かれて、本を読んだり音楽を聴いたり舞台を観たりすることがありますが、今回の映画たちもそんな感じでした。結果、私自身もグイグイのめり込んで観ていたり、あるいは「同じ監督の、前の作品のほうが好みかなあ」という感じだったり。冒頭の怪獣的映画は、けっこう知的な感想というか議論が交わされていて面白く思いましたし、アニメ映画のほうは男性の感涙率が高い印象で、それがまた良い感じ(?!)でした。

こんなふうに人との交錯のなかで作品を体験できるのを楽しく感じます。一人でどっぷりその世界に浸るも、また愉し。秋の夜長、皆さんはどのようにお過ごしですか? **阪本 路子**

家の窓から心地よい光が差し込むある休日の朝、気持ちも少しゆったりしていたので「そうだ!今日は時間もあるしお昼ご飯にピザでも作ろう!」と思い立ちました。ピザと言えば宅配のピザは電話一本で焼きたてアツアツを届けてくれるし、食べに行けば最近は石窯で焼いたとかいうこだわりのピザもそこかしこに溢れています。冷凍食品コーナーを覗けば家で焼くだけで完成のピザもあるし生地だけ売っていたりもする…。だけど、「今日は一から手作りで!!」。

元々、手作りで何かを作ることは大好きな私。器用かと言われれば決してそうではないと思うのですが、気分が乗れば編み物をしたりミシンを無心で走らせ袋を作ったり。その日は気分が料理の方に向いたようです。ピザは何度か作っていますがレシピを自分のものにしているわけではないので、困った時の「信頼と実績のお料理レシピ検索サイト」に足を踏み入れました。その情報量から一つのレシピに決め込むのは至難の業でしたが、家にある材料やかかる時間などとの条件を合わせ、いざ調理!見た目は売り物にはかなわないし時間もかかったけれど、味は抜群(自画自賛!)…と思えたのは手作りマジックのような気がします。次に作る時はこうしたいな~なんていう課題も出来ましたが、お腹もこころも充たされた昼下がりでした。

皆さんも何かに気持ちが赴いた時は是非その気持ちを大切に。その気持ちに迷いがある時はいつでも学相に来てください。某検索サイトのようにすぐにとはいきませんが、あなたがしっくりくるものを見つけるお手伝いが出来るかな、と思います。

村居 香

秋らしい寒さと秋晴れの気持ちよさを感じる季節になりましたね。寒くなってきたのに夏の話ですが…。9月初旬に瀬戸内海に行ってきて、海は穏やかで心地良い風にほっこりしました。瀬戸内海の島々には色々なアートな作品や美術館が点在しているので、それを目的に行ったりします。色々な作品が野外に作られていたり、美術館自体が1つの作品となっていて、心地よい空間で何時間でも自由に過ごせたりするような場所もあります。でもやっぱり私の感覚ではなかなか理解が及ばない作品もあり…芸術は深いなぁと…。ただ、自分のペースで居られるので、旅行というよりどこか休息をとりに行くような感覚でした。作品をどう見て、何をどう感じるかは自由で、沢山の作品の中で何か自分の中でピタッとくる感覚に時々出会うことがあります。上手く言葉にできないのですが、そういうものに出会うとす~っと心が軽くなります。もしかしたら、日常生活ではやるべきことが沢山あったりで、多少は「自分の感覚を抑えたり、小さくしていることもあるのかもしれないな」と思ったり。だから「自分はこれが心地良いんだ」「こういうのが好きなんだ」と…変な表現ですが「自分に戻る」とか「自分を再認識」する感じに近いものがあったのかもしれません。学生相談室もそんな感覚を得られる場所にもできるといいな…と思い巡らせました。



【 開室時間 と 予約方法 】

開室曜日および各担当者

月曜日河井・村居火曜日河井・阪本

水曜日 小川・村居木曜日 國松・阪本

金曜日 小川・國松

in misimus

受付時間

 $8:45 \sim 16:30$

個別面接時間

田

田口田

★個別面接については、予約が基本となります。

Ω

「学生相談申込票」で申し込み、「約束カード」で相談日時を確認して 相談を受けてください。

★電話でも予約を受け付けています。

学生相談室 075-574-4239 (9:00~16:15) 医務室 075-574-4119 (9:00~18:15)

- ★予約当日は、直接来室してください。カウンセラーが応対します。
- ★夏期および春期の長期休暇中は、相談室の開室カレンダーでご確認ください。 長期期間中は、学生支援課 (075-574-4114)でも受付け ています。

【 学生相談室の場所 】